

展着剤加用によるなし幸水のまだら果発生の軽減

1. 試験のねらい

なし幸水では収穫果実のまだら果の発生が問題となっている。既に、6月～7月の薬剤散布時に展着剤のアプローチ BI を加用すると、果面の汚れが軽減されることを明らかにした。しかし、葉に薬害を生じる場合があるので、同様の効果があり、しかも、薬害のない展着剤を選抜するため、平成4年～7年に検討した。

2. 試験方法

場内の幸水について（平成4年に27年生4本主枝仕立て）平成4年は3樹、平成5年～7年は2樹を供試し、6月～7月の慣行防除薬剤に展着剤を加用する区と慣行防除薬剤のみの区を設け、枝全体に手動噴霧器で滴り落ちる程度に散布した。使用した展着剤はミックスパワー 3,000倍、アプローチ BI 1,200倍、リノー 2,000倍である。

まだら果及び果面の汚れの程度は、収穫直前に結実したままの果実、1区40果について調査した。葉の薬害については、6月の1回目の散布から5～10日間隔で調査した。

（散布日及び使用薬剤は表-1のとおり）

3. 結果および考察

- (1) まだら果の発生は展着剤のリノー加用区で少なく（表-2）、軽減効果があると考えられた。
- (2) いずれの展着剤も果面の汚れには明らかな差はなかった（表-2）。
- (3) リノー区の薬害は無加用区と同程度であり問題はなかった（表-3）。

4. 成果の要約

なし幸水のまだら果の発生は、6月～7月の薬剤散布時に展着剤リノーを加用することで軽減できると考えられた。

（担当者 果樹部 石下康仁）

表-1 散布日及び使用薬剤

年次	散布日	使用薬剤 (濃度)
平成 4年	6月19日	キノンドー水和剤 (800倍) + スミチオン水和剤 (1,000倍)
	29日	フジオキシラン水和剤 (600倍) + オサダン水和剤 (1,200倍)
	7月 8日	バイコラル水和剤 (1,500倍) + スプラサイド水和剤 (1,500倍)
	17日	キャプレート水和剤 (600倍) + ミクロデナポン水和剤 (1,200倍)
	27日	フジオキシラン水和剤 (600倍) + ニッソラン水和剤 (2,000倍)
平成 5年	6月25日	フジオキシラン水和剤 (600倍) + ダーズバン水和剤 (1,000倍)
	7月 6日	キャプレート水和剤 (600倍) + スプラサイド水和剤 (1,000倍)
	16日	フジオキシラン水和剤 (600倍) + ダーズバン水和剤 (1,000倍)
	26日	トリフミン水和剤 (3,000倍) + リンナックル水和剤 (1,000倍)
	8月 4日	キノンドー水和剤 (800倍) + ニッソラン水和剤 (2,000倍)
平成 6年	6月27日	キノンドー水和剤 (800倍) + スミチオン水和剤 (1,000倍)
	7月 6日	フジオキシラン水和剤 (600倍) + ダーズバン水和剤 (1,000倍)
	15日	フジオキシラン水和剤 (600倍) + リンナックル水和剤 (1,000倍)
	25日	サニパー水和剤 (800倍) + ピラニカ水和剤 (1,500倍)
	8月 8日	アグロスリン水和剤 (1,000倍)
平成 7年	6月27日	フジオキシラン水和剤 (600倍) + スプラサイド水和剤 (2,000倍)
	7月 7日	キノンドーフロアブル (800倍) + リンナックル水和剤 (1,000倍)
	13日	サニパー水和剤 (600倍) + ミクロデナポン水和剤 (1,200倍)
	20日	キャプレート水和剤 (600倍) + リンナックル水和剤 (1,000倍)
	28日	フジオキシラン水和剤 (600倍) + ミクロデナポン水和剤 (1,200倍)

表-2 まだら果及び果面の汚れに及ぼす影響 (平成 4~ 7年)

処理区	まだら果の発生度					果面の汚れの発生度				
	平成 4年	5年	6年	7年	平均	平成 4年	5年	6年	7年	平均
ミックスパー	1.42	1.74	1.52	1.75	1.60b	1.05	1.45	1.14	2.32	1.48a
77°ロ-FBI	1.72	1.60	1.61	1.54	1.61b	1.15	1.27	1.33	2.16	1.49a
リ-	1.22	1.47	1.24	1.45	1.35a	1.02	1.40	0.93	2.06	1.37a
無加用	1.57	1.98	1.70	1.65	1.74b	1.00	1.52	1.38	1.81	1.43a

注) まだら果の程度: 0 (無) ~ 3 (多) 汚れの程度: 0 (無) ~ 3 (多)

平成 4年は 3区平均、5年~ 7年は 2区平均

Duncan多重検定、5%レベルで同符号間に有意差なし。

表-3 葉の薬害に及ぼす影響 (薬害葉の割合、%)

処理区	第1回散布後の日数		
	10	19~21	38~40日
ミックスパー	2.3	4.3	25.3
77°ロ-FBI	1.8	22.7	44.0
リ-	2.0	6.5	23.8
無加用	1.0	7.8	22.5

注) リング状の褐色斑点を生じた葉を薬害とした。

4年間の平均。